

時間割コード	G1D11131	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (中級)					担当教員	TAKAHASHI YUWEN
英文授業名	Academic English Phase I (A)						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・2時限	対象学生	F I (2)
講義室	共通教育 3 6 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Reading及びAcademic Writingの演習を行う。 ・ Academic Reading: アカデミックレベルの語彙を修得し、文法や構文の正しい理解を基に学術的な英文を読解する。 ・ Academic Writing: 文法・語法、コロケーションの演習、アカデミックレベルの語彙の確認、自然な英語表現を身につけるための演習を行いながら、正確かつ的確な英文を書く。						
(5)授業のキーワード	Academic Reading Academic Writing Natural Expression						
(6)授業計画	Class 1: Orientation Class 2: Structure of paragraph Class 3: Chapter 1 Reasons/Conclusions Class 4: Chapter 1 Reasons/Conclusions Class 5: Chapter 2 Analysis (Social phenomena) Class 6: Chapter 2 Analysis (Social phenomena) Class 7: Test 1, Presentation (Explanatory), Class 8: Chapter 4 Controversy Class 9: Chapter 4 Controversy Class 10: Chapter 5 Comparison/Contrast Class 11: Chapter 5 Comparison/Contrast Class 12: Chapter 9 Process Analysis Class 13: Chapter 9 Process Analysis Class 14: Review, Test 2 Class 15: Final Report, Presentation (Comparison), 授業アンケート						
(7)成績評価の方法	Tests (20%) Writing assignments (20%) Presentations (20%) Final Report (40%)						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・ この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・ We have homework (reading and writing) assignments every week. Find assignments on eALPS and be sure to complete them before class.						
(10)履修上の注意	There are assignments every week. Be sure to turn them in before deadline. You will need the handouts and dictionary for the assignments. Contact the teacher when having questions or concerns about the class. Be respectful for classmates						
(11)質問,相談への対応	Office hour: 12:10~13:00 in the classroom after class. Or, make an appointment by e-mail. e-mail address available on eALPS.						
(12)授業への出席	・ 全ての回に出席することを基本とします。 ・ 授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外(評点は0点)となります。 ・ 感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・ 「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・ 「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください(『共通教育履修案内』参照)。 ・ 「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法(『共通教育履修案内』参照)により、共通教育窓口で申請						

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	指定しない
【参考書】	指定しない